

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 令和2年7月豪雨からの創造的復興</p> <p>【施策1】被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み</p> <p>施策1-③災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり</p>	95,630	75,015	<p>1 警察施設災害復旧費</p> <p>令和2年7月豪雨により被災した人吉警察署署長宿舍の移転新築工事を実施し、被災地域における防災・災害拠点の早期復旧を図った。</p> <p>2 交通安全施設災害復旧費</p> <p>令和2年7月豪雨により被災し仮復旧した信号制御機22基の本復旧を実施し、被災地域における交通安全の確保及び円滑化を図った。</p>	<p>警察施設災害復旧費のうち P405</p> <p>交通安全施設災害復旧費のうち P405</p>
<p>【施策2】県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり</p> <p>施策2-①国土強靱化に向けた取組み</p>	638,634	634,167	<p>1 警察統合OA整備費</p> <p>(1) 警察システム用回線複数化事業</p> <p>災害発生時の断線に備え、別ルートを通る回線を追加で契約するとともに、それぞれの回線容量を見直し、冗長化を図ることによって耐障害性の向上を実現した。</p> <p>① 通信回線契約</p> <p>既存の回線に加え、別ルートの回線を追加した。</p> <p>② 通信回線複数化に必要なLAN機器の整備</p> <p>追加の通信回線用LAN機器を各警察署及び各本部執行隊に整備した。</p> <p>(2) 警察業務システム関連バックアップサーバ導入の推進</p> <p>警察本部が機能停止した場合においても、警察業務システムの利用を可能とする「遠隔地業務仮想基盤システム」を導入するための計画、設計等を策定した。</p> <p>2 危機管理対策費</p> <p>(1) 災害用装備資機材の装備・充実</p> <p>県内での発生が予想される豪雨災害、阿蘇山の噴火、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、災害警備用備蓄食糧を購入して装備の充実を図るとともに、過去の災害対応等で消耗した災害用ヘルメット、長靴、救助用手袋、救命浮輪、LED投光器等を購入・整備し、災害対応に向けた万全な態勢構築を図った。</p>	<p>警察本部費のうち P349～P352</p> <p>警察活動費のうち P355～P357</p>

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
(施策2-①国土強靱化に向けた取組み)			(2) 災害対応力強化事業 令和2年7月豪雨における災害警備によって得られた教訓等を踏まえ、豪雨災害に強い災害警備態勢構築のため、レスキューボート、イリジウム携帯電話、ポータブル蓄電池等を導入し、災害対応力の強化を図った。													
2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 【施策1】感染症対策の体制強化 施策1-①感染拡大防止対策及び相談・検査体制等の確保	20,793	20,793	1 警察活動における感染症対策事業 各種警察活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止を推進するため、感染症対策資機材等を整備した。 (1) 留置管理業務における看守勤務員及び被留置者の感染防止対策のための殺菌消毒資機材の整備 (2) 交番等の来庁者用カウンター及び取調室机へのアクリルパネルの設置による飛沫感染防止対策の実施 (3) 各種警備活動時の現地対策本部における飛沫感染防止を目的としたパーティションの整備 (4) PC動画視聴及びWEB会議を活用したコロナ禍における効果的な会議及び研修の実施	警察活動費のうち P355～P357												
【施策2】持続可能な社会の実現 施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止	253,683	237,118	1 「電話で『お金』詐欺」防止のための総合対策事業 「電話で『お金』詐欺」被害の防止に向けた各種施策を推進した。 (1) 県内の「電話で『お金』詐欺」被害の推移 <table border="1" data-bbox="922 1038 1886 1158"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>増減(3年-2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害件数</td> <td>41件</td> <td>88件</td> <td>+47件(+114.6%)</td> </tr> <tr> <td>被害金額</td> <td>49,358</td> <td>171,102</td> <td>+121,744(+246.7%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 「電話で『お金』詐欺」被害防止推進活動 ① 被害に遭うリスクの高い押収名簿登録者や高齢者に対して、被害防止コールセンターによる注意喚起を実施 ② 金融機関、コンビニエンスストア等と連携したキャンペーン及び声かけ、SNS等を活用した広報啓発活動の実施		令和2年	令和3年	増減(3年-2年)	被害件数	41件	88件	+47件(+114.6%)	被害金額	49,358	171,102	+121,744(+246.7%)	警察活動費のうち P355～P357
	令和2年	令和3年	増減(3年-2年)													
被害件数	41件	88件	+47件(+114.6%)													
被害金額	49,358	171,102	+121,744(+246.7%)													

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																																
(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)			4 少年非行防止活動の推進 非行少年を生まない社会づくりに取り組むとともに、少年の立ち直りを支援する活動を実施し、少年の規範意識の向上及び社会との絆の強化を図った。 (1) 少年非行の現状 <table border="1" data-bbox="922 400 1888 715"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>増減(3年-2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刑法犯少年数</td> <td>232人</td> <td>242人</td> <td>+10人 (+4.3%)</td> </tr> <tr> <td>初発型非行少年数</td> <td>108人</td> <td>112人</td> <td>+4人 (+3.7%)</td> </tr> <tr> <td>再非行少年数</td> <td>56人</td> <td>33人</td> <td>▲23人 (▲41.1%)</td> </tr> <tr> <td>再非行者率</td> <td>24.1%</td> <td>13.6%</td> <td>▲10.5ポイント</td> </tr> <tr> <td>特別法犯少年数</td> <td>74人</td> <td>50人</td> <td>▲24人 (▲32.4%)</td> </tr> <tr> <td>薬物乱用少年数</td> <td>14人</td> <td>5人</td> <td>▲9人 (▲64.3%)</td> </tr> <tr> <td>不良行為少年の補導数</td> <td>795人</td> <td>717人</td> <td>▲78人 (▲9.8%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) SNSに起因する子供の性被害等防止のための広報啓発活動 サイバーパトロールにより発見したSNS上の児童買春や児童ポルノ等の書き込みに対する広報啓発活動を実施(6,783件) (3) 保護者に対する広報啓発 SNSに起因する子供の性被害・非行防止のための保護者向け広報啓発冊子「スマホに弱い大人の教科書(熊本県警察発刊)」を2万部増刷し、入学説明会等で県内全ての新中学1年生の保護者に配布 (4) 学校との連携 <ul style="list-style-type: none"> ① 熊本県学校・警察相互連絡制度 <ul style="list-style-type: none"> ・警察から学校への連絡 : 635人 ・学校から警察への連絡 : 172件 ② スクールサポーター制度 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の問題行動等への対応 : 4,130回 ・非行・被害防止教育の支援等 : 189回 ・防犯パトロール等による児童生徒の安全確保対策 : 2,609回 (5) 少年警察ボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ① 少年指導委員と連携した風俗営業店舗への立入りによる環境浄化活動 : 124回 ② 少年サポーターと連携した非行少年、不良行為少年等に対する支援 : 52回 (6) 警察が行う児童の一時保護 令和3年中に児童相談所へ通告した要保護児童 : 1,435人	区分	令和2年	令和3年	増減(3年-2年)	刑法犯少年数	232人	242人	+10人 (+4.3%)	初発型非行少年数	108人	112人	+4人 (+3.7%)	再非行少年数	56人	33人	▲23人 (▲41.1%)	再非行者率	24.1%	13.6%	▲10.5ポイント	特別法犯少年数	74人	50人	▲24人 (▲32.4%)	薬物乱用少年数	14人	5人	▲9人 (▲64.3%)	不良行為少年の補導数	795人	717人	▲78人 (▲9.8%)	警察活動費のうち P355 ~ P357
区分	令和2年	令和3年	増減(3年-2年)																																	
刑法犯少年数	232人	242人	+10人 (+4.3%)																																	
初発型非行少年数	108人	112人	+4人 (+3.7%)																																	
再非行少年数	56人	33人	▲23人 (▲41.1%)																																	
再非行者率	24.1%	13.6%	▲10.5ポイント																																	
特別法犯少年数	74人	50人	▲24人 (▲32.4%)																																	
薬物乱用少年数	14人	5人	▲9人 (▲64.3%)																																	
不良行為少年の補導数	795人	717人	▲78人 (▲9.8%)																																	

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)			<p>5 サイバー犯罪対策の強化</p> <p>(1) サイバー関連事案の相談及び検挙状況</p> <p>SNSを利用したストーカー規制法違反事件、出資法違反事件、スマートフォン向けオンラインゲームにおけるアカウントに係る私電磁的記録不正作出・同供用事件等検挙のほか、サイトを利用したフィッシング被害に関する相談を受理</p> <table border="1" data-bbox="940 438 1888 555"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>増減(3年-2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイバー犯罪検挙件数</td> <td>221件</td> <td>245件</td> <td>+24件(+10.9%)</td> </tr> <tr> <td>サイバー犯罪相談件数</td> <td>3,279件</td> <td>3,554件</td> <td>+275件(+8.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人的基盤の強化</p> <p>サイバー犯罪テクニカルアドバイザーによる研修、サイバー犯罪に関するシンポジウムへの参加等、民間知見を取り入れた人材育成の推進</p> <p>(3) 物的基盤の強化</p> <p>解析用資機材、解析用ネットワーク資機材、ウェブ会議システム等、捜査及び人材育成に必要な資機材等の整備・拡充</p>		令和2年	令和3年	増減(3年-2年)	サイバー犯罪検挙件数	221件	245件	+24件(+10.9%)	サイバー犯罪相談件数	3,279件	3,554件	+275件(+8.4%)	警察活動費のうち P355～P357
				令和2年	令和3年	増減(3年-2年)										
			サイバー犯罪検挙件数	221件	245件	+24件(+10.9%)										
サイバー犯罪相談件数	3,279件	3,554件	+275件(+8.4%)													
<p>6 捜査基盤の強化</p> <p>初動捜査支援システムを活用し、殺人、強盗等の凶悪犯罪、交通ひき逃げ事件等において被疑者の早期確保、特異行方不明事案において関係者の確保、DV・ストーカー事案における被疑者・行為者の発見捕捉等を行った。</p>	警察活動費のうち P355～P357															
<p>7 暴力団総合対策の推進</p> <p>暴力団等の犯罪組織に対する取締りを徹底するとともに、暴力団対策法及び熊本県暴力団排除条例の効果的運用や地域住民等の暴力団排除活動の支援を行うなど、組織犯罪に係る諸対策を推進した。</p> <p>(1) 暴力団犯罪の取締り</p> <p>令和3年中の暴力団員等の検挙人員：139人(前年比▲22人)</p> <p>(2) 熊本県暴力団排除条例の運用</p> <p>暴力団員に用心棒代等を供与した事業者に対する勧告：9件</p> <p>(3) 関係機関・団体と連携した暴力団排除</p> <p>国や地方自治体が行う公共事業等や各種業法の許認可、地方自治体が行う生活保護等の給付や公営住宅への入居及び民間企業が行う各種取引からの暴力団を排除するための取組みの</p>	警察活動費のうち P355～P357															

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																																
(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)			<p>推進</p> <p>(4) 暴力団排除に向けた不当要求防止責任者講習の開催 公益財団法人熊本県暴力団追放運動推進センターと連携し、集合講習と併用してオンラインを利用した責任者講習を実施：開催数13回（受講者926人）</p> <p>(5) 「令和2年7月豪雨災害」に係る復旧・復興事業からの暴力団排除の取組み 復旧事業に係る人材派遣や下請け参入における暴力団の排除を推進するための国・県・関係団体間での情報共有</p>																																	
<p>4 将来に向けた地方創生の取組み</p> <p>【施策3】安全・安心な社会の実現</p> <p>施策3-③一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会の創造</p>	6,890	5,672	<p>1 犯罪被害者支援活動の推進 犯罪被害者等の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図るため、各種施策を推進した。</p> <p>(1) 民間被害者支援団体との連携 被害者等への支援活動における活動基盤の強化を図るため、公益社団法人くまもと被害者支援センターとの連携を強化するとともに、同センターに対する補助金の交付を実施</p> <table border="1" data-bbox="925 799 1888 959"> <thead> <tr> <th>活動業務</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増減（3年－2年）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務（電話、メール等）</td> <td>1,370件</td> <td>2,002件</td> <td>+632件（+46.1%）</td> </tr> <tr> <td>直接的支援業務（病院付添等）</td> <td>218件</td> <td>266件</td> <td>+48件（+22.0%）</td> </tr> <tr> <td>専門相談業務（弁護士等）</td> <td>51件</td> <td>37件</td> <td>▲14件（▲27.5%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 二次的被害の防止・軽減事業 犯罪被害直後の居住場所の確保、診断書料・カウンセリング費等の公費負担による被害者の精神的・経済的負担の軽減</p> <table border="1" data-bbox="925 1067 1888 1227"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増減（3年－2年）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中長期的避難施設借上事業</td> <td>6件</td> <td>3件</td> <td>▲3件（▲50.0%）</td> </tr> <tr> <td>診断書手数料等の公費負担事業</td> <td>167件</td> <td>161件</td> <td>▲6件（▲3.6%）</td> </tr> <tr> <td>職員メンタルヘルス対策事業</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>▲1件（▲100.0%）</td> </tr> </tbody> </table>	活動業務	令和2年度	令和3年度	増減（3年－2年）	相談業務（電話、メール等）	1,370件	2,002件	+632件（+46.1%）	直接的支援業務（病院付添等）	218件	266件	+48件（+22.0%）	専門相談業務（弁護士等）	51件	37件	▲14件（▲27.5%）	事業項目	令和2年度	令和3年度	増減（3年－2年）	中長期的避難施設借上事業	6件	3件	▲3件（▲50.0%）	診断書手数料等の公費負担事業	167件	161件	▲6件（▲3.6%）	職員メンタルヘルス対策事業	1件	0件	▲1件（▲100.0%）	警察活動費のうち P355～P357
活動業務	令和2年度	令和3年度	増減（3年－2年）																																	
相談業務（電話、メール等）	1,370件	2,002件	+632件（+46.1%）																																	
直接的支援業務（病院付添等）	218件	266件	+48件（+22.0%）																																	
専門相談業務（弁護士等）	51件	37件	▲14件（▲27.5%）																																	
事業項目	令和2年度	令和3年度	増減（3年－2年）																																	
中長期的避難施設借上事業	6件	3件	▲3件（▲50.0%）																																	
診断書手数料等の公費負担事業	167件	161件	▲6件（▲3.6%）																																	
職員メンタルヘルス対策事業	1件	0件	▲1件（▲100.0%）																																	

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
【施策4】魅力ある地域づくり 施策4-①交通体系の最適化	1,448,656	1,421,621	1 交通安全施設等整備費のうち交通円滑化対策 交通の安全と円滑を確保するため、交通安全施設等の整備を実施した。 (1) 道路の新設及び改良に伴う交通安全施設等の整備 道路の新設、交差点改良等に伴う信号機の新設、道路標識・標示の高輝度化等の実施 (2) 交通管制システムの整備 ① 信号制御の集中化による信号機の高度化の実施 ② 光ビーコンや車両感知器等の整備 ③ 各種交通情報をリアルタイムにドライバーへ提供する交通情報板の整備 (3) 災害に備えた交通安全施設等の整備 ① 信号灯器のLED化による軽量化及び信号柱の鋼管柱への建替 ② 自動起動発動発電機の整備	警察活動費のうち P355～P357
6 その他 (6) 警察組織の基盤整備	82,537	82,368	1 上天草警察署の整備 上天草警察署新庁舎については、現庁舎（昭和44年3月）の老朽化、狭あい化及び耐震性に係る課題、職員宿舎が土砂災害特別警戒区域に位置している状況等を踏まえ、敷地を拡張の上、職員宿舎を併合した庁舎として現地建替を行うこととし、令和3年度中は、庁舎建設に着手した。 (1) 新庁舎の所在地 上天草市大矢野町中 11582 番地3（拡張後敷地面積 5,522.03 m ² ） (2) 新庁舎の建設内容 ① 庁舎（S造3階建 2,824.13 m ² ） ② その他（車庫、倉庫及び駐輪場） (3) 新庁舎の建設スケジュール 平成30年度：測量 令和元年度～2年度：用地購入及び設計 令和2年度：地質調査 令和3年度～5年度：庁舎建設工事	警察施設費のうち P353～P354